



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち

# とままえ

# 3

No.631



## まちひと百景

### 神風を待てども・・・

2月23日(日)に開催された風あげ大会。前半の親子の部や小学生の部までは雪も交じりながら程よい風が吹き、多くの風が大空に高く舞った。

しかし、高校一般の部以降は風が収まる一方、特に大風の部では風待ちの状態が長く続き、果敢に風あげにチャレンジする団体はちらほら。

待てども待てども神風は吹かず、「来年も今年の風がそのまま使えるかな」という声が聞こえるほど、見せ場を作ることができなかった。

- とままえ冬の大運動会ほか・・・2
- 除雪ボランティアほか・・・3
- 北海道風あげ大会・苫前町風あげ大会ほか・・・4
- 苫前婦人会によるマスコットづくりほか・・・5
- 国民年金・文芸・・・6
- 国民健康保険ガイド・・・7
- 健康ばんざい・・・8
- 学びの広場・・・9
- 住まいる情報・・・10～11
- ちびっこギャラリー・・・12

### まちの人口

人口/3,473人(男/1,639人:女/1,834人)  
世帯数/1,639世帯 (2月28日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

## 転んでも最後まであきらめずに ～とままえ冬の大会～

### とままえ冬の大会結果一覧

(各部門1位のみ掲載)

#### チャレンジの部

部門	氏名	所属等	記録
小学1年女子	西 胡 春	古丹別小	0' 17" 10
小学2年女子	猪 股 真 央	苫 前 小	0' 18" 13
小学2年男子	後 藤 大 和	古丹別小	0' 14" 00
小学3年男子	吉 川 貴 大	古丹別小	0' 18" 53
小学4年男子	久 保 慧 太郎	古丹別小	0' 14" 59

#### 頂上の部

部門	氏名	所属等	記録
小学3年女子	西 桜 誇	古丹別小	0' 31" 48
小学3年男子	吉 村 玲 亮	古丹別小	0' 26" 34
小学4年女子	横 野 瑞 希	苫 前 小	0' 24" 36
小学4年男子	島 田 宗 一 郎	苫 前 小	0' 24" 44
小学5年男子	金 子 慎 太 郎	苫 前 小	0' 22" 61
小学6年男子	西 志 尚	古丹別小	0' 22" 10
一般男子	秋 山 貴 人	古丹別	0' 18" 51

#### スノーボードの部

部門	氏名	所属等	記録
小学3年男子	檜 森 快	古丹別小	0' 17" 38
小学4年男子	橋 場 星 宙	古丹別小	0' 14" 77
小学6年男子	西 志 尚	古丹別小	0' 13" 43
中学男子	千 葉 大 翔	苫 前 中	0' 27" 44

#### スレッドリレーの部

部門	氏名	記録
チーム名	氏名	記録
小学1・2年 いわいのまた	岩 井 啓 悟 猪 股 真 央	0' 23" 27
小学3・4年 快&玲亮	檜 森 快 吉 村 玲 亮	0' 15" 60
小学5・6年 YNコンビ	西 志 尚 野 村 優 大	0' 14" 44
中学生	伊 藤 行 平	0' 12" 15
古中野球部1-A	矢 田 剛 琉	
一般団体 苫前SSママさん	島 田 香 織・横 野 美 香 小 畑 京 子・猪 股 祥 子	0' 35" 31

2月2日(日)古丹別緑ヶ丘スキー場で、町体育協会(平田日出男会長)主催のとままえ冬の大会が小学生から一般まで約60名が参加し開催された。

朝から天候に恵まれ絶好のスポーツ日和の中行われた大会では、スキーは小学校低・中学年向けとして斜面の第1リフト終点辺りからスタートするチャレンジの部、斜面頂上からスタートする頂上の部の2部門、スノーボードの部、そしてソリに人を乗せ、折り返し地点で交代するスレッドリレーの部の計4部門で各学年ごとに分かれて実施された。



スキーの部では、笑顔を見せながら余裕の表情で順番を待っていた子どもたちもスタートに立つと表情も一変、真剣な表情で緊張した面持ちでスタートを切る姿が印象的だった。

中には足を取られ転倒する子どももいたが、すぐに立ち上がり、最後まであきらめずゴールを目指す姿に、周りで応援していた保護者や子どもたちからも「ガンバレ」「もう少し」などの声援が飛びかっていた。

## 自分の中のオニ。出ていけ! ～町内保育園(所)で豆まき～



2月3日(金)に町内の保育園(所)で豆まきが行われた。

古丹別保育園(川森のり子所長)では、それぞれ人には「なまけオニ」「泣き虫オニ」など心の中に様々なオニが悪さをしているの、豆をまいて自分の中のオニを外に出そうという内容のDVDを鑑賞した後、赤組、桃組などの園児に豆をまいて自分の中にいるオニを外に出した。

その後は、かわいらしいオニの登場に年長組は果敢に豆をぶつけていたが、年少組の園児は、豆もまくことができず先生の後ろで泣いている姿が見られた。

やがてオニが降参し、着ぐるみの中から見慣れた先生が出てくると、先程話をしてくれた人ということも忘れ、泣きながら先生の後に隠れたり、驚きのあまり固まってしまったりもいたが、勇敢な年長組園児が馬乗りになりオニが退治されると、安心したのか泣いていた園児たちもホッとした表情を浮かべていた。

「火遊びはしません」と宣言したあとは、オニと仲よく記念写真を撮っていた。

こちらはリアルでオニそのものの面を付けた職員2名が現れると、先程話をしてくれた人ということも忘れ、泣きながら先生の後に隠れたり、驚きのあまり固まってしまったりもいたが、勇敢な年長組園児が馬乗りになりオニが退治されると、安心したのか泣いていた園児たちもホッとした表情を浮かべていた。

また、苫前保育園(青木久美子園長)では、最初にオニに扮する北留消防組合苫前支署職員が紹介され、火遊びをしないよう注意喚起した後に豆まきが行われた。





## 高齢者宅の除雪に汗 ～各地区消防団・学校による除雪ボランティア～



毎年、消防団や学校が実施している除雪ボランティアが実施され、消防団員や生徒が作業に従事した。

2月2日(日)には苦前町消防団苦前分団(佐藤利幸分団長)と力昼分団(佐藤勉分団長)が、6日(木)には苦前中学校(富田正夫校長)の全校生徒、翌日7日(金)には苦前商業高等学校(小笠原茂美校長)の1・2年生、翌日8日(土)には古丹別中学校(前田雄校長)の全校生徒、そして同月16日(日)には苦前町消防団古丹別分団(檜森光夫分団長)と6団体で約30世帯の高齢者の除雪を行った。

どの地区も雪解けも始まっていったとはいえ、水気の多い雪に苦労しながら作業を進めていた。

## ハッスルプレーに歓声飛び交う ～苦前建設協会長杯ミニバレーボール大会～

この大会は当初、協会加盟団体の親睦と冬場の運動機会の提供を目的に開催されたが、募集したところ加盟団体よりミニバレー愛好会の会員や職場の有志による参加が多数を占めたこともあり、当協会の冬の地域社会貢献事業として位置づけられていく。

試合は3ブロックの予選を経て、決勝トーナメントは各予選の1・2位を1部、3・4位を2部、それ以下をエキシビジョンマッチの部の3部構成で実施された。

2月9日(日)にスポーツセンターにおいて、今回で4回目となる苦前建設協会長杯ミニバレーボール大会が開催され、町内外より16チーム約90名の参加で開催された。



### 第1部

優勝	T・V・C	石川祐紀、新村 恵、川森啓太、岡田絵梨子、瀬川貴士、酒本敏美
準優勝	光組	後藤奈美子、小畑京子、西村理沙、小畑洋起、草薙 龍、石田尚克
第3位	チーム野村	古林佑介、古林千種、野村昌博、丹羽和也、鈴木智大、池田愛紗
敢闘賞	雪組ミニバレー部	加納喜久雄、加納木綿子、天谷聡美、坂下弘美、天谷勝史

### 第2部

優勝	チーム満々	原野未来、川村 巧、川村優利菜、白府宏太
準優勝	ちょしちゃん	前川稔昭、井上しのぶ、木沢奈保子、丹羽明子、松森加代子
第3位	王下七武海	白府研人、佐藤凌一、瀬川和真、檜谷早耶香、奥山咲希
敢闘賞	羽高バスケ部	奥山聡士、宮崎 舜、黒田裕也、近藤菜衣、成川 楓

### エキシビジョンマッチの部

優勝	チーム風来望	鳥羽由美子、丹羽和恵、赤坂弘昭、瀬川朱美
準優勝	16	川村 舞、加藤みなみ、芳賀史織、尾泉 拓、石川 諒、袴田龍太郎
協会長賞	雪組 JP	長谷川豊、長谷川亜希子、原 洋之、福田希代美、福田レナ

ファイナルプレーや珍プレーが続出し、そのたびに笑いやヤジが飛び交い、楽しく交流できた大会となったようだ。

また、同センターロビーには建設協会の活動紹介のパネル展示も行われ、試合の休憩中に参加者が鑑賞していた。

大会の結果は次のとおり。

## 大漁と安全操業を祈願して ～大漁祈願祭・船霊祭～



2月9日(日)にとままえ温泉ふわつとで平成26年度大漁祈願祭・船霊祭が開催され、漁業者や来賓、漁協関係者などあわせて約40名が参加し挙行された。

玉串奉てん、祝詞奏上などを行った後、大漁祈願祭実行委員会の太田信之執行委員長は「平成26年度はアベノミクスの効果のほか、魚の消費拡大や燃油の安定などを期待している。また、北るもい漁業協同組合苦前支所の売り上げ計画である16億4,400万円を達成できるよう、組合員全員は努力を惜しまず漁に専念してほしい」と挨拶し、参加者全員が今年の漁の安全と大漁を祈願した。

## くま頭の獅子にカッコイイ！ ～学社融合事業「くま獅子舞」～

また、横笛の体験では、なかなか音が出ず悪戦苦闘少しでも音が出れば教室内から「おお」という驚きの声が上がった。川森会長が「くま獅子やりたい人は」というと多くの児童が手を上げていた。

2月13日(木)苦前小学校(高谷典義校長)で学社融合事業「くま獅子舞」のことを学ぼうが行われ、同校3年生17名が学習した。

講師はくま獅子保存会の川森光治会長、黒川信正さん、松岡光雄さんの3名がくま獅子舞の説明や少年団が出演したDVD鑑賞を行った後、大きいケースからくま頭が見えると児童からは「カッコイイ」「すごい」などの声上がり、その作りを一目見ようとくま頭の周りには児童が集まった。





# 前半は凧びより、後半は凧泣かせ! 第22回北海道凧あげ大会 第41回苫前町凧あげ大会

2月23日(日)とままえ温泉ふわつと周辺会場において第22回北海道凧あげ大会、第41回苫前町凧あげ大会が開催され、町内外より約2千5百人の来場者が冬のイベントを楽しんだ。

開会式で大会長の森利男町長が「天候はよいが、風が少なく凧あげのコンディションとしてはよくないが、ケガのないよう冬の1日を楽しんでほしい」と挨拶、古丹別小学校2年生の杉本七海さんと吉川唯華さんの選手宣誓で大会がスタートした。

8部門に分かれ、凧柄の審査を行った後、いよいよ凧あげへ。前半は、風もほどほどで子どもたちが作った色とりどりの凧柄の凧が数多く青空に舞ったが、後半の高校一般の部以降はピタツと風がおさまり、特に大凧の部では凧をあげようと果敢にチャレンジしても凧に乗せることができないほどの微風に風待ちの状態が続ぎ、来場者らもとても残念そうな表情が印象的だった。

室内では、ピエロのグッチによるバルーンアートショーに子どもだけでなく大人も一緒に楽しんでむとともに、おえかきっこ「みゆ」による似顔絵ネットワークスやダイヤモンドアート「chika」によるキラキラしたラメを腕などに乗せて模様を作るメイクも列を作るほど盛況だった。

また、水産加工品やべこ餅などの出店にも多くの人が利用していた。



## 第22回北海道・第41回苫前町凧あげ大会入賞者一覧

	最優秀賞	第1位	第2位	第3位	第4位	敢闘賞			
親子の部	古川 悠翔 古川 巧	岡田 美波 岡田絵梨子	新村 凌臥 新村 恵	天谷 瞭助 天谷 英樹	岩田 朔弥 岩田 留美	岡田 健介・岡田 勇介 佐藤 由奈・佐藤 由美 大田 蒼輔・大田 恵	芳賀 友香・芳賀 敏昭 松森大志郎・松森 隼人 小林 仁子・小林 康子		
小学1・2年の部	西 胡春	安田 衣咲	杉本 七海	嶋崎 瑠斐	石井 湊	山口 太雅 佐藤 有紗	久野 光輝 石川 風	小林 悠之 佐藤 海音	
小学3・4年の部	蓮見侑梨愛	安田 颯太	嶋崎 楓	川崎 凧	加賀谷柀次	安藤知佐都 下田ひより	吉村 玲亮 島田宗一郎	山口 優育 石井くるみ	
小学5・6年の部	清水 涼雅	石井 聡人	高田 佳歩	茂木 亮	横内 豪	加賀谷悠衣			
中学生の部	青柳沙弥香	北村 和輝 石川 篤司	成川利樹也 今 昭人	星野 汐音		建設協会特別賞 ・親子の部 島田 航大・島田 香織 実行委員会特別賞(三重県桑名市 中川慧明氏寄贈) ・高校一般の部 渡邊 明子 ・大凧の部 山本建設工業株式会社 ・連凧の部 さっちゃんず			
高校一般の部	田中 紫孝	赤塚 隆志	青柳 静子	青柳 登					
大凧の部	青柳 誘孝	北るもい 漁業協同組合	留萌人権擁護 委員会 まもるくん	留萌人権擁護 委員会 あゆみちゃん					
連凧の部	古丹別スキー 少年団	古丹別スキー 少年団指導員	さっちゃんず			凧あげ大会ポスターコンクール入選一覧 最優秀賞 本田 愛珠(苫前小6年) 優秀賞 石井しずく(苫前小5年) 杉本 大佑(苫前小5年) 山口 優育(苫前小3年) 石井くるみ(苫前小3年) 山口 太雅(苫前小1年)			



## 子どもたちが安全にカエル！ ～苫前婦人会によるマスコット作り～



町内の小学校に入学する子ども達が登下校の際に事故なく安全で元気に通えるよう「無事カエル」の思いを込めたカエルのマスコットづくりを苫前婦人会（高田美智子会長）が2月17日（月）に福祉センターで実施された。

これは毎年行われていたが、今年は婦人会員の減少から、今回から小学校へ新入学する児童分を作ることとして30個を製作している。

この日も10名の会員が一つひとつ手縫いで思いを込めながら作られ、今後は神社で安全祈願された後、学校を通じて配布される予定。

また、各施設で使われるふきん等も一緒に作られ、完成しだい配布される予定。

## 地域社会貢献事業

～まちの施設を整備していただきました～

### 雪氷熱鮮度保持施設への雪入れ ～ハラダ工業株式会社～

苫前漁港海岸高潮対策工事を実施しているハラダ工業株式会社（原田俊之代表取締役社長）が、北るもい漁業協同組合苫前支所に設置している雪氷熱鮮度保持施設への雪入れを1月31日（金）と3月4日（火）に地域社会貢献事業で実施した。

同施設は魚の鮮度を保つため、冬期間に一定量の雪を確保する必要がありますでしたが、その搬入に苦慮していました。御社の申し出により重機と人により搬入していただいたお陰で十分な量を確保することができました。ありがとうございました。



### 凧あげ大会会場の整備 ～ハラダ工業株式会社苫前支店～

ハラダ工業株式会社苫前支店（滝本和浩取締役苫前支店長）が2月20日（木）に、北海道凧あげ大会の会場となるとままえ温泉ふわっと周辺の排雪・圧雪などの会場整備を地域社会貢献事業で実施した。

毎年、同大会には約2千人ほどの来場者が集まるため、駐車場の確保や凧あげ会場となるオートキャンプ場までの通路の確保に苦慮していましたが、御社の申し出のお陰で雪も取り除かれたお陰もあり、事故も無くイベントも盛会のうちに終了することができました。ありがとうございました。

### B&G海洋センターの雪下ろし ～ハラダ工業株式会社～

苫前漁港海岸高潮対策工事を実施しているハラダ工業株式会社（原田俊之代表取締役社長）が2月21日（金）に、B&G海洋センターの雪下ろしを地域社会貢献事業として実施した。

同施設には今冬に降り積もった雪が多く堆積し、その処理に苦慮していましたが、御社の申し出により重機と多くの作業員を派遣いただき、雪下ろしを実施していただいたお陰で積もっていた雪もほとんど無くなり、安心して春を迎えることができそうです。

ありがとうございました。



### 凧あげ会場付近滑り止め用砂まき ～株式会社東北建設～

株式会社東北建設（小島英人代表取締役）が北海道凧あげ大会の当日2月23日（日）に、会場となるとままえ温泉ふわっと周辺の国道入口付近や町道への滑り止め用の砂まきを地域社会貢献事業で実施した。

大会当日は天候が良かったため雪解けが進み、車や歩行者にとって大変歩きづらい状態になっていましたが、御社の申し出により大会開催前に砂をまいていただいたお陰で、車両事故や歩行者の転倒などもなく、無事に大会を終了することができました。

ありがとうございました。

マイプランをしっかりと 国民年金  
「国民年金後納制度について」



●国民年金後納制度で将来の年金額を増やすことができず

国民年金後納制度は、過去10年間に納め忘れた保険料を納付することにより、将来の年金額を増やすことができる制度です。

また、年金を受給できなかった方は後納制度を利用することで、年金が受けられる場合があります。

過去10年以内に納め忘れた保険料がある方は、ぜひ後納制度をご利用ください。なお、後納制度が利用できる期限は平成27年9月30日までとなっています。お早めに申し込みください。

●後納保険料の納付書の「使用期限」にご注意を

すでに後納制度を申し込まれた方で、平成16年4月以降の後納保険料の納付がお済みでない方は、納付書に記載された使用期限（平成26年3月31日）までに納付をお願いします。

なお、使用期限までに納付できなかった方が平成26年4月以降に納付を希望される場合は、新たな加算額による納

付書を発行します。国民年金保険料専用ダイヤルまたは留萌年金事務所へご連絡ください。（連絡先枠内参照）

【注意】

平成16年3月以前の後納保険料は、10年を超えるため平成26年4月以降は納付できません。

●後納制度の申し込み・納付書の再発行のお問い合わせは

国民年金保険料専用ダイヤル(ナビダイヤル) ☎0570-011-050

050から始まる電話でおかけになる場合

☎03-6731-2015

〈受付時間〉 月 曜日 8:30~19:00  
火~金曜日 8:30~17:15  
第2土曜日 9:30~16:00

留萌年金事務所 ☎0164-42-7211

※お問い合わせの際には、基礎年金番号がわかるものをご用意ください。

平成26年度 こころの健康相談について

留萌保健所では、地域住民の精神的健康の保持向上を図るため、「こころの健康相談」を開設しています。

平成26年度も下記のとおり開設することとなりましたので、お知らせします。



- 事業名 こころの健康相談
- 開催日時及び場所 下記のとおり
- 相談内容

- ①統合失調症、うつ病、認知症、アルコール依存、高次脳機能障害、自殺関連の相談
- ②引きこもり、登校拒否、家庭内暴力、非行、性の問題
- ③家庭、職場、学校での人間関係問題

開設日	時間	場所
4月15日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
5月13日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
6月3日(火)	14:30~16:30	羽幌町保健センター
7月1日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
8月5日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
9月2日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
10月7日(火)	14:30~16:30	羽幌町保健センター
11月11日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
12月2日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
1月20日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
2月3日(火)	15:00~17:00	留萌保健所
3月3日(火)	15:00~17:00	留萌保健所

留萌振興局保健環境部保健行政室(☎0164-42-8329)

「文芸」

川柳

苦前川柳社

春近し 櫻のような雪の舞い 苦前 小島 信子  
雪仕事 妻の優しさ 香り風呂 苦前 斉数 範章  
鏡見て 自分の年齢を 教えられ 苦前 芳賀 敏美  
波の音 焼きつく 故郷の 親子舟 留萌市 関 武  
米寿過ぎ 白寿に向けて 亀の足 札幌市 関 武

苦前 鎌田 信夫  
(文責・鎌田)

防犯情報ゲットで事前対策を

全道的に児童・生徒への声かけ事案は増加しており、登下校時に多く発生しています。

不審者情報等の防犯情報の入手も有効な方法です。事前に情報を入手し防犯対策を行いましょう。

○「安全・安心ポータルサイト」から登録画面に移動

<http://www.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/index.html>

○道警ホームページから登録画面に移動

[http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/seian/bouhan\\_mail/top.html](http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/seian/bouhan_mail/top.html)

北海道環境生活部くらし安全局道民生活課